

富士市立中央病院 病院だより

第 37 号

発行：平成29年7月20日

〒417-8567 富士市高島町50
 電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077
 E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp
 http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/
 お問い合わせ：病院経営課（内線2221・2222）

Fuji City General Hospital

新規採用看護師 元気いっぱい頑張ります!!

平成29年4月、新しい仲間が加わり、看護部は総勢621名となりました。「患者さんを支えられるように頑張りたい」、「元気に明るくさわやかな挨拶を習慣化したい」、「同期と互いに支えあい困難を乗り越えたい」、「富士市職員として自分の行動に責任を持ちたい」と意欲満々です。



研修内容

- 4月 急変時の対応
静脈注射教育ステップ1
- 5月 静脈注射教育ステップ2
- 6月 人工呼吸器等医療機器の取扱い
3か月の振り返り
- 9月 静脈注射教育ステップ3-A
半年の振り返り
- 10月 危険予知トレーニング
- 3月 1年の振り返り



4月25日 静脈注射教育ステップ1

充実した新人研修と、きめ細やかな職場内教育を通して、急速に変化する医療に対する適応能力、患者さんの状態に合わせて問題解決ができる能力を持った看護師に成長できるよう、看護部全体で支援しています。

もくじ

- 新規採用看護師の紹介 1
- 中央病院の役割 二次救急医療の提供 2
- 外来日程表 • 医師の人事異動 3
- 各科紹介～整形外科～ • 事務部組織の変更 診療情報担当の紹介 4
- 熱中症予防 • 未収金回収業務の委託 5
- 看護学生インターンシップ受付開始 • 過去の病院だよりの閲覧案内 5



中央病歴管理室の様子

中央病院の役割

二次救急医療の提供

1. 医療機関の役割分担

救急医療体制は、県が作成する医療計画に基づき、重症度に応じて一次、二次、三次救急医療の3段階の体制をとっています。富士市では、休日・夜間における一次救急は富士市救急医療センターと医師会（当番制）となっており、二次救急は当院をはじめとする4病院が担っています。

一次救急

軽症患者（帰宅可能患者）に対する救急医療

二次救急

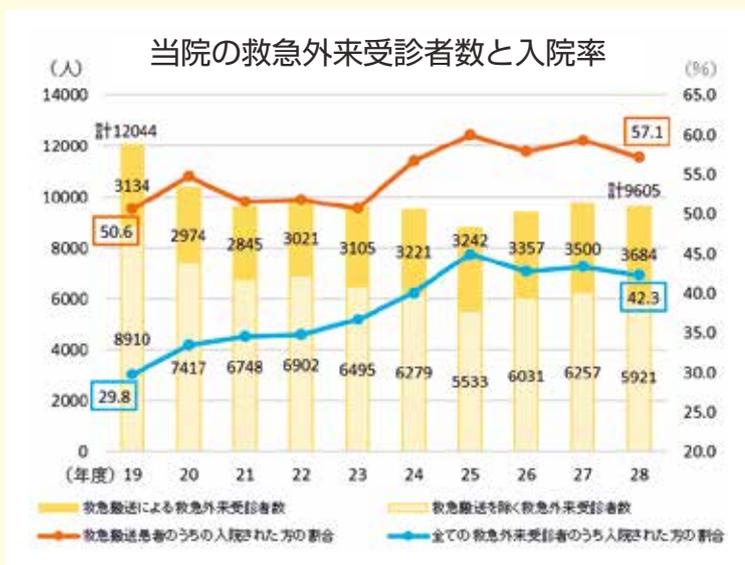
中等症患者（一般病棟入院患者）に対する救急医療

三次救急

重症患者（集中治療室入院患者）に対する救急医療

2. 当院の救急外来の状況

ここ10年、当院の救急外来受診者数は減少傾向にある一方で、救急搬送による救急外来受診者数は平成21年度からわずかに増加傾向を示しています。また、全ての救急外来受診者のうち入院された方の割合（←）は、平成19年度の29.8%と比べ平成28年度は42.3%と増加しています。救急搬送患者のうち入院された方の割合（→）も増加傾向にあり、近年は60%前後で推移しています。



3. 富士市救急医療センター・富士市消防本部との連携

当院で診察・治療を必要とする患者さんを搬送するうえで、富士市救急医療センター、富士市医師会や富士市消防本部が重要な役割を果たしています。スムーズな連携を図るため、様々な取り組みをしています。毎月、救急医療センターで開催される運営委員会では、医師会と当院の医師が参加し、救急患者の転送体制や祝日・休日の診療体制などを検討しています。消防本部は、当院で開催される救急室運営委員会に定期的に参加し、搬送時の課題を共有し解決しています。また、心肺停止状態の方の搬送など、特定の事例についての検証も行っています。



救急室運営委員会委員長
糖尿病・内分泌・
血液内科診療参事
藤井 常宏

富士市の救急医療体制は、一次救急の医療機関で軽症患者さんを受け入れ、危険な状態の患者さんや精査が必要な患者さんだけを当院に送るシステムが、しっかりと機能しています。

当院の許容範囲を超える救急医療要請があると、患者さんを受入れられなくなり、市外の医療機関に搬送することとなります。できる限りそうした状況に陥ることをなくすため、人材を含めて当院が持つ医療資源を必要とする方に提供していきたいと考えています。

今後も、委員会などを通じて複雑にならないうちに問題を解決し、顔の見える関係を築くことで、より良い連携体制を保つよう努力してまいります。

富士市立中央病院外来日程表

受付時間：午前8時～11時

平成29年7月1日現在

診療科	〈部長名〉		月	火	水	木	金	(備考)	
内科	初診	増田	高村	伊藤晶	遠藤	石見		谷口医師は午後予約のみ 月曜日の辻野医師は午前、比企医師は午後 火曜日の須藤医師は午前、石澤医師は午後	
		高津	青木	桐生	嵯峨崎	庄司			
		藤井		谷口	藤井	山城			
		辻野/比企	須藤/石澤	辻野	須藤	辻野			
		木村	木村	木村	木村	橋本			
		高橋	笠井	高村	高橋	笠井			
		佐伯	伊藤公	鳥巢	中野	佐伯			
河野	森田	河野	河野	河野					
精神神経科	〈外岡雄二〉		外岡		外岡	外岡		〈初診は完全紹介状制〉	
循環器科	初診	阪本	阪本		長谷川/木下	山田	木曜の長谷川医師は奇数週、木下医師は偶数週 火曜の初診受付は午前10時まで		
			三川	三川	三川	三川			
		木下		木ノ内	山田	阪本			
(心臓血管外科)	〈織井恒安〉		織井						
小児科		千葉		千葉					
		松岡	鈴木貴	松岡	松岡	鈴木貴			
		鈴木亮	秋山	鈴木亮	秋山	秋山			
外科	初診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制		森川医師は偶数週の午後2時～4時 ※はヘルニア外来(午後のみ) 木曜の神尾医師は3週	
		市原	吉田	梶本	坪井	良元			
			道鉢	谷田部	高野	道鉢			
			良元	柏木	森川	柏木			
		(乳腺疾患)	女性専用の外来	梶本		神尾			
			山口	永井		永井	山口		
			江崎	嶺		嶺	江崎		
	村上	加藤	(交代制)	村上	加藤				
脳神経外科	〈諸岡 暁〉		廣津/坂本		武井		水曜は初診のみ 火曜の諸岡医師、木曜の野田医師は再診のみ		
		野田	諸岡	(交代制)	野田	諸岡			
形成外科		西村	平川	西村	(休診)	西村	〈初診は完全紹介状制〉		
		仲	仲	仲		仲			
泌尿器科	〈後藤博一〉		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤		
			下村	阪中		下村			
(排尿障害)	女性専用の外来				平本		受付は午後1時～2時		
産婦人科	初診	東堂/鈴木崇	長谷川	鈴木康	矢田	松木	〈婦人科初診は完全紹介状制〉 月曜の東堂医師は奇数週、鈴木崇医師は偶数週		
		婦人科再診	矢田	松木	鈴木崇	小田		鈴木康	
		妊婦健診	松木	矢田	東堂	鈴木康		長谷川	
		(不妊症)	女性専用の外来	鈴木康	長谷川	鈴木康		長谷川	鈴木康
(婦人科疾患)			廣中			金山/小田	受付は午前8時～9時 受付は午後1時～2時		
眼科	〈藤谷 暢子〉	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	木曜は紹介状初診及び予約のみ 木曜の渡辺医師は4週のみ		
		渡辺	渡辺	渡辺	(渡辺)	渡辺			
耳鼻咽喉科	〈重田 泰史〉	黒田	(交代制)	黒田	内尾	(交代制)	火曜・金曜は初診のみ		
		重田		内尾	重田				
		内尾		重田	黒田				
皮膚科	〈津嶋 友央〉	津嶋	津嶋	津嶋/森	津嶋	津嶋	水曜の津嶋医師は奇数週、森医師は偶数週		
		森	森		森	森			
放射線科		道本	道本	道本	道本	道本	〈初診は完全紹介状制、完全予約制〉 ←治療外来		
			青木			小宮山			
歯科口腔外科	〈勝山 直彦〉	勝山	勝山	勝山	勝山	勝山			
		井出	井出	井出	井出	井出			
		久我	久我	久我	久我	久我			
		岡村	小林/阿部		磯田/児玉・岡山				
緩和ケア外来		梶本					梶本医師は奇数週のみ 〈初診は完全紹介状制〉		

※都合により、内容が変更になることがあります。
※女性専用の外来を担当する女性医師は、赤字で表示しています。

●医師の人事異動について

退任日：平成29年6月30日

就任日：平成29年7月1日

退任日：平成29年6月30日

就任日：平成29年7月1日

診療科	退任医師名	就任医師名
外科	阿部 恭平	高野 裕樹
	石川 あい	中野 貴文
	小林 康伸	村上 友梨

診療科	退任医師名	就任医師名
形成外科	平川 正彦	—
整形外科	船井 充	江崎 直哉
泌尿器科	倉内 崇至	阪中 啓吾

各科紹介 ～整形外科～

高難度手術などの専門的な医療の提供

私たち整形外科は、富士市の基幹病院として、紹介状制による外来診療と救急診療・手術を5人の常勤スタッフで行っております。

診療内容としては、腰痛、ひざ痛や骨折などの整形外科一般診療と、変形性股関節症での人工股関節置換術のような専門的な治療を行っています。平成28年1月から12月までの整形外科手術件数は約600件で、人工関節手術は約50件でした。

昨年、当院では「同種骨移植システム」を構築し、大きな骨移植を必要とする高難度の手術も対応可能となりました。無菌化処理をした骨組織を院内骨バンクで保管し、交通事故等で骨が欠損した場合に移植します。骨の移植はまだ馴染みが薄いと思いますが、人工の骨より癒合がよく、拒絶も極めて少なく、次第に自身の骨に置き換わるというメリットがあり、大学病院でも広がりつつある取り組みです。

また、当科では、多くの治療実績がある高齢者の大腿骨頸部骨折に対する早期治療・早期退院を目指しています。自宅への退院をスムーズに行い、リハビリを継続して行えるように地域の医療機関と連携・調整しています。

地域の皆様に専門的なより良い医療が提供できるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



所属紹介 ～診療情報担当の紹介～

私たちは医療情報・医療支援専門のチームです!

診療情報担当は、診療情報の一元管理・活用と医療支援を目的に、医事課の中央病歴管理室と医師事務作業補助者チーム、病院経営課の情報システム室を統合し、平成29年度より医事課の新しい担当となりました。医療情報・医療支援専門のチームとして、医療ニーズに添っていきため、今後も医療知識の獲得や専門職としてのスキル向上に励んでまいります。

中央病歴管理室

カルテの情報から病院運営のための統計作成・分析、医学研究のための情報収集、国や学会への症例の提供、カルテ情報の質管理・監査を行っています。今年度から手術室での情報入力支援、輸血室の追跡調査支援など専門性を活かした業務を開始しています。



医師事務作業補助者チーム

医師の業務負担軽減のため、書類作成等の事務作業補助、カルテの代行入力、研究支援を行っています。



情報システム室

電子カルテシステムとその他の情報システムの管理を行っています。特に、電子カルテシステムは、カルテ情報を院内で共有しているため、円滑な診療には欠かせないものとなっています。





お知らせ



【元気に過ごそう! ~熱中症予防~】

熱中症予防の基本は、「食事+睡眠」で暑さに負けない体力をつけることです。

バランスの良い食事のポイント

- 1日3食 ● 主食 + 主菜 + 副菜 をそろえる。
- 汗で失われやすいミネラルや水分を含んだ野菜をたっぷり摂取。



特に、体温調節機能が未熟な乳幼児やのどの渇きを感じにくい高齢者は脱水や熱中症になりやすいので要注意です。

のどの渇きを感じる前に水やお茶でこまめに水分補給しましょう!

熱中症かな?と感じた時は『経口補水液』の摂取もおすすです。経口補水液は脱水状態の人が水・電解質を補給するのに適しており、体内の成分に近いので、すみやかに吸収されます。スポーツドリンクより糖分が少なく、塩分が多く含まれているのも特徴です。家庭でも簡単に作ることができるので、脱水・熱中症対策に活用してください。

経口補水液の作り方

水1ℓに砂糖40g、塩3gを加えてよく混ぜるだけです。レモン果汁を加えると飲みやすくなります。



栄養科

【未収金回収業務の委託について】

診療等に係る費用負担の公平性を確保するため、一定期間を経過してもお支払いのない診療費用等の一部について、今年度から回収業務を弁護士事務所に委託することになりました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 委託先** 紀尾井町東法律事務所
- 所在地** 東京都千代田区紀尾井町3-27
- 代表者** 代表弁護士 前田 博之

医事課 内線2105



看護学生対象

【1日インターンシップ受付開始!】

実際の看護業務や職場環境を体験することで、ご自身の将来像を具体的にイメージすることができます。看護師を目指している皆さん、ぜひ当院の職場を直接ご覧ください。

ご希望の方は、当院ウェブサイトをご覧くださいのうえ、お申し込みください。



看護部

過去の病院だより ご覧いただけます

当院ウェブサイトでは、病院だよりを創刊号（平成20年7月20日号）から最新号まで公開しております。興味のある方は、当院ウェブサイトをご覧ください。



病院経営課
内線2222

総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

●看護相談・がん相談・よろず相談 内線2046

患者さんとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。

●医療福祉相談(健診含む) 内線2918

患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。

月曜日～金曜日 8:30～16:00 地域連携室内(1階正面玄関入って右側)

その他の病院内の相談は…

●お薬相談 お薬相談室(1階お薬渡し口隣り)

月曜日～金曜日 8:30～17:00

お問い合わせ：薬剤科 内線2126

●栄養相談 栄養相談室(2階循環器内科外来隣り)

月曜日～金曜日 ※予約制です。

お問い合わせ：栄養科 内線2146

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明 中央検査相談室(2階)

月曜日～金曜日 8:30～17:00

お問い合わせ：臨床検査科 内線2267

●フットケア相談(糖尿病患者さんの足のケア) 内科外来(2階)

第2・第4水・木曜日 13:30～15:30

お問い合わせ：内科外来 内線2285

●医療放射線被ばく相談 中央放射線科(1階)

火・木曜日 ※予約制です。

お問い合わせ：中央放射線科 内線2153

●医療安全相談 医療安全相談室(2階内科外来奥)

月曜日～金曜日 8:30～16:00

お問い合わせ：医療安全対策室 内線2259

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で54メニュー、全て無料です。ぜひご利用ください。

●詳細は当院ウェブサイトまで

お問い合わせ：病院経営課 内線2222

各種教室の紹介

患者さんとご家族を対象とした教室を開催していますので、お気軽にご参加ください。開催日・講義内容についてはお問い合わせください。各教室の開催場所は、いずれも2階大会議室です。

●腎臓病教室 お問い合わせ：栄養科 内線2146

日時：毎月第3火曜日 15:00～16:00

第41期腎臓病教室スケジュール

第4回 8/15、第5回 9/19、第6回 10/17

●ファミリークラス(バースクラス・ペアクラス)

お問い合わせ：産婦人科外来 内線2059

日時：毎月3回 13:00～15:00

〈富士市立中央病院の理念〉

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

〈富士市立中央病院職員宣言〉

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、市立病院としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

〈平成29年度病院指針〉

「急性期医療の充実と連携強化で地域に信頼される病院」

従来の機種と同等出力で 小型・軽量化に成功!

体積 約25%ダウン
重量 約20%ダウン



HB-P1タイプ

従来品

より快適な両耳用低価格モデル
『リオネットウィー』も新発売!

任せて安心! 認定補聴器技能者在籍

あなたのまちの補聴器やさん

富士宮補聴器センター
富士宮市錦町 イオンSC富士宮東側
TEL・FAX 0544-27-5629

営業時間
9:00～18:00
第3日曜定休
駐車場あり

リオネットセンター富士
富士市石坂 大淵街道沿い
TEL・FAX 0545-53-2365

営業時間
9:00～17:00
日・祝日定休
駐車場あり

お弁当のご注文承ります

5,500円以上のご注文で富士宮市内へ配達いたします。



カルピ弁当 | 1,500円(税別)



ハーフ&ハーフ弁当[牛/豚] | 980円(税別)

焼肉飯店
京昌園
KEISHOEN

☎0120-08-2989

個室・席・宴会のご予約受付中
4名様より無料送迎バス承ります。

全店年中無休

別館/はなれ/富士みなみ店/富士宮店
www.k-shoen.com

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

お問い合わせ：病院経営課 内線2221・2222